

キャンパスを活用した自然体験型環境教育プログラムの開発

1. プロジェクトメンバー

市川智史 環境総合研究センター・助教授(研究代表者)
横山和正 教育学部・教授

2. プロジェクトの概要

石山キャンパスは緑が豊かで、樹木、樹種も多く、草原もあり、自然体験型の環境教育・環境学習のフィールドとして有用な場である。けれども、このフィールドの持つ素材や教育資源を有効に活用するプログラムは未だ開発されていない。本プロジェクトでは、石山キャンパス内にいく

つかのルートを設定し、自然環境を体験的に学習できるプログラムを開発するものである。

3. 2005(平成17)年度の活動

- ・プロトタイプとしての「キャンパス「気づき」体験プログラム」を作成し、教育学部必修の共通教養科目「環境教育概論」において実践を行った。
- ・樹木名の標識板設置の準備を行った。
- ・現時点での研究成果を特集論文にまとめた。